

事務事業名	スマートIC整備事業【28新規】		会計	一般会計	実施区分	28新規			
			事業種別	政策	開始	28	終了		
H29作成課等名	国県リニア事業課	H29係等名	リニア事業係	H28担当課等名	リニア事業係				
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり						
	施策	81	交流による高付加価値化・国際化の推進						
目的	対象(誰・何を)	リニア長野県駅と高速道路との接続			対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	リニア長野駅へのアクセスの向上を図る				郡市民の数(人)県毎月人口異動調査結果10月1日の人口	160827		
	向上させたい上位施策の成果指標	都市間交流に参加する市民の割合				リニア長野県駅から直近の高速IC距離	7.8		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	リニア長野県駅付近から直近の高速ICへのアクセス時間短縮(分) (17分→5分)					0	0	
	成果指標	進捗率%(当年度までの実施済額/全体事業費×100)					1.8	2.5	
定性目標									
事業概要	1 リニア中央新幹線の効果を広範囲に波及させるために必要となるアクセス道路の整備を計画的に実現できるよう関係機関と調整する。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	国土交通大臣へスマートIC連結許可申請を行い、連結許可後に事業着手(路線測量・詳細設計等)地元協議を行いながら事業を進める。				式		1式		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		15,135	61,930	15,318	41,200	(国)社会資本整備交付金(5.5/10) (地)公共事業等(充当率90%) (そ)道路橋梁測量設計業務受託事業収入 28→29 繰越明許費 41,200千円			
国庫支出金			20,944	4,779	16,165				
県支出金									
起債			15,400	3,500	11,900				
その他			16,114	4,339	11,775				
一般財源		15,135	9,472	2,700	1,360				
人件費計(千円)②		0	7,152	7,152	0				
正規職員所要時間			2,000	2,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		15,135	69,082	22,470	41,200				
事業内容・目標達成状況の振り返り		長野県より昨年10月にリニア関連道路整備として平成39年リニア開業時までには効果発現を目指す箇所及び想定される事業主体が公表された。 スマートICの計画を想定するエリアについて地元提示を行った。							
改革改善の考え方	①問題点	関係機関との調整及び事業化							
	②改革提案	関係機関との積極的な協議・調整及び、丁寧な地元説明による効率的な事業執行。							